

2019年7月吉日

## 市民公開**特別**講座を開催しました

# 今、考える。自分らしい人生を生きるために

## ～アドバンス・ケア・プランニングについて～

2019年5月18日（土）当院南館8階会議室で市民公開特別講座を開催しました。今回は特別講座として春日井市民病院がん相談支援センター部長の會津恵司先生をお招きしました。当日は93名の参加がありました。



會津 恵司先生

1 演題目は、會津恵司先生による「今考える。自分らしい人生を生きるために」でした。アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは、「人生会議」であり、今後の目標や人生の最終段階の治療やケアについて家族や信頼する人とあらかじめ話し合い、医療介護福祉従事者とも相談しておくことです。命にかかわる事態のときには約70%の人が自分の望みを話せない状況になるといわれています。元気なときに、家族や信頼する人と自分の人生や今後に大切にしたいことを話しあっておくことが重要であることを教わりました。

2 演題目は、当院の岡島明子医師による「緩和ケアはみんなのもの」でした。「緩和ケア」と聞くと「がんの終末期・・・」「モルヒネを使う」というイメージがあり、「緩和ケアで相談を」と言われると敬遠されがちです。実は「緩和ケア」は、命にかかわる病気と診断されたその日から、病気による心や体のつらさを和らげるために、どなたでも利用していただけます。

当院の「緩和ケア相談外来」では、薬での治療はもちろん、治療方針への迷い、自宅で過ごしたい希望、ご家族の心配な気持ち等々・・・「そのひとらしい生き方」と、とりまくみなさんの「納得」を目指して、毎日さまざまなご相談にのっています。

参加者の方からは、「早速、家族と「人生会議」をしたいと思います。」「緩和ケア=終末期の概念が変わりました。今後は安心して医療が受けることができます。」などさまざまな感想をいただきました。今回も多数ご参加いただき、ありがとうございました。



岡島 明子先生

7/1 申し込み開始

市民公開特別講座「排尿トラブルを解決して“はつらつ”人生を！」

日時： 2019年8月31日（土） 13：30 開場 14：00 開演

演題 1. 「前立腺がんについて知ろう！」

名古屋大学大学院医学系研究科泌尿器科学教室 准教授 加藤 真史

演題 2. 「排尿トラブルを解決して“はつらつ”人生を！」

名古屋大学大学院医学系研究科泌尿器科学教室 教授 後藤 百万